

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理（衛生管理技術）		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	難波 弘行		学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>・ 公衆衛生及び保健の基礎的な学びを通してその意義と目的を理解する。公衆衛生に関連した具体的な生活習慣病やその予防法も学ぶ。理容師・美容師等の日常業務に生かせるようスキルを深める。</p> <p>・ 環境衛生及び保健の基礎的な学びを通してその意義と目的を理解する。環境衛生に関連した具体的な衛生害虫やその対策法も学ぶ。理容師・美容師等の日常業務に生かせるようスキルを深める。</p>							
到達目標	<p>・ 公衆衛生と健康との関連性が分かる。</p> <p>・ 生活習慣病や感染症の病態と予防対策の重要性が理解できる。</p> <p>・ 環境衛生と健康との関連性が分かる。</p> <p>・ 人獣共通感染症の感染源と予防対策の重要性が理解できる。</p>							
授業計画・内容								
第1週	1-1-1 公衆衛生の概要 オリエンテーション、公衆衛生の意義と課題			第16週	2-1-1 (1) 環境衛生 オリエンテーション、衛生環境の概要、環境衛生の内			
第2週	1-1-2(1)(2) 公衆衛生発展の歴史 欧米と我が国の公衆衛生の歩み			第17週	2-1-1 (2) (3) 環境衛生 環境衛生の目的と意義、環境衛生活動			
第3週	1-1-2(3) 公衆衛生発展の歴史 消毒法の歴史			第18週	2-1-2(1)(2)環境衛生 空気環境、空気と健康 温熱環境と健康			
第4週	1-1-3(1)(2) 理容師・美容師と公衆衛生			第19週	2-1-3 (1) 環境衛生 衣服・住居の衛生 (1)、衣服の衛生			
第5週	1-1-4 保健所と理容業・美容業			第20週	2-1-3 (2) 環境衛生 衣服・住居の衛生 (2)、住居の衛生			
第6週	1-2-1(1) 保健 母子保健			第21週	2-1-3 (2) 環境衛生 衣服・住居の衛生 (3)、住居の衛生			
第7週	1-2-1(2) 保健 成人・高齢者保健 (1) 平均寿命・死亡率等			第22週	2-1-4 (1) (2) 環境衛生 上・下水道と廃棄物 (1)、上水道、下水道			
第8週	1-2-1(2) 保健 成人・高齢者保健 (2) 健康増進対策等			第23週	2-1-4 (3) 環境衛生 上・下水道と廃棄物 (2)、廃棄物			
第9週	1-2-1(2) 保健 成人・高齢者保健 (3) がん・循環器疾患等			第24週	2-1-5 (1) 環境衛生 衛生害虫とネズミ (1)、衛生害虫			
第10週	1-2-1(3) 保健 精神保健 (1)、精神保健の概要、心の健康づくり			第25週	2-1-5 (2) 環境衛生 衛生害虫とネズミ (2)、ネズミ			
第11週	1-2-1(3) 保健 精神保健 (2)、地域精神保健福祉活動			第26週	2-1-6 (1) 環境衛生 環境保全、水質汚濁			
第12週	公衆衛生に関する基本問題			第27週	環境衛生に関する基本問題			
第13週	公衆衛生に関する基本問題の解説			第28週	環境衛生に関する基本問題の解説			
第14週	公衆衛生まとめ（練習問題）			第29週	環境衛生まとめ（練習問題）			
第15週	公衆衛生まとめ（練習問題解説）			第30週	環境衛生まとめ（練習問題解説）			
評価方法	<p>定期試験(前期・後期)を実施し、授業態度や出席状況、レポートの内容を考慮して成績を評価する。 ※定期試験 (90%) ・授業態度と出席、レポート (10%)</p>							
教科書 教材など	<p>・ 「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行</p> <p>・ プロジェクター（パワーポイント使用）</p> <p>・ レポート冊子（1人1冊配布）</p>							
実務経験	薬剤師歴42年（保健所・病院勤務薬剤師、大学薬学部臨床薬学教授）					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理（感染症）		学科名	ヘアビューティ学科		授業方法		講義	
担当教員	出石 文男		学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の基礎的な学びを通してその意義と目的を理解する。 ・感染症の総論で「人と感染症」「病原微生物」「感染症の予防」を、各論で「代表的な感染症」について学ぶ。 ・授業は講義形式で行い、グループワークを行う。 ・前期・後期学期末にテストを実施する。 								
授業内容									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の的確な知識、技能を会得し感染症の予防の重要性が理解できる。 ・授業を通して、美容師・理容師は社会の責任ある役割を担う業務であることが分かる。 ・国家資格の免許を取得する。 								
授業計画・内容									
第1週	総論 人と感染症 感染症発見の歴史				第16週	各論 感染症の基礎知識の重要性			
第2週	疫病 ハンセン病, 天然痘				第17週	空気・飛沫を介して感染する感染症 結核			
第3週	疫病 ペスト、、結核、スペインかぜ				第18週	ジフテリア、COVID-19、鳥インフルエンザ			
第4週	細菌学、ウイルス学の発展・進歩				第19週	インフルエンザ、新型インフルエンザ、麻疹			
第5週	ワクチンの発見				第20週	百日せき、風しん			
第6週	化学療法剤の進歩				第21週	飲食物を介して感染する感染症 細菌性赤痢			
第7週	感染症の制圧 法律による分類				第22週	腸管出血性大腸菌感染症、A型肝炎			
第8週	身体への侵入・媒介経路				第23週	血液等を介して感染する感染症 B型肝炎			
第9週	病原微生物 細菌、ウイルス				第24週	C型肝炎、後天性免疫不全症候群、梅毒			
第10週	微生物の構造、増殖、環境の影響				第25週	動物・節足動物を介して感染する感染症			
第11週	感染症の予防 微生物の病原性				第26週	ラッサ熱、ペスト、デング熱			
第12週	汚染、感染及び発病				第27週	標準予防策 皮膚病変をもつ客への対応			
第13週	常在菌叢 免疫と予防接種				第28週	せき・嘔吐のある客への対応、清掃と除染			
第14週	感染症発生の要因				第29週	感染症を学んで グループワーク			
第15週	感染症予防の三原則				第30週	グループワークと発表			
評価方法	定期試験（前期・後期）を実施し、ノート、小テスト、授業態度と出席状況を考慮して成績を評価する。 定期試験（70%）、小テスト（20%）、出席（10%）								
教科書 教材など	「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行								
実務経験	薬剤師 昭和45年登録 （病院勤務薬剤師、大学薬学部医療薬学教育センター （医療薬学教授）					実務経験のある教員による 授業科目			✓

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	化粧品化学	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が化粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性について学習していく。 ・授業は講義形式で単元ごとに確認テストを行い、理解度を確認しながら進めていく授業である。 						
到達目標	美容師として必要な薬品の知識を学ぶことにより、お客様に提供する際の説明ができることや国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。						
授業計画・内容							
第1週	1編 1章 化粧品概論 1節 香化粧品の社会的意義と品質特性	第16週	復習				
第2週	2章 1節 化粧品を使用する際に気を付けるべきこと	第17週	復習				
第3週	3節 化粧品の安全性と安定性	第18週	5天然色素				
第4週	3章 化粧品の成り立ち 1節 化粧品の成り立ち	第19週	7節 香料				
第5週	2節 水と親水性溶媒	第20週	8節 その他の配合成分 1化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分				
第6週	2節 油性原料	第21週	2化粧品配合成分があたえる機能				
第7週	4節 界面活性剤 1界面活性剤の基本的性質	第22週	9節 その他機能性配合原料				
第8週	2界面活性剤の種類	第23週	10節 雑貨原料				
第9週	5節 高分子化合物 1高分子化合物と特性	第24週	9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 1合成樹脂				
第10週	6節 色材	第25週	2編 化粧品総論 1章 スキンケア製品				
第11週	有機合成色素	第26週	2節 クレンジング用化粧品				
第12週	復習	第27週	3節 コンディショニング用化粧品概論				
第13週	復習	第28週	復習				
第14週	復習	第29週	復習				
第15週	復習	第30週	復習				
評価方法	定期試験を実施し、毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（50%） 発表（20%） 授業態度や出席（30%）						
教科書 教材など	出版社：日本理容美容教育センター 書名：香化粧品化学 ・講師作成プリント						
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリープ21 3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論		学科名	ヘアビューティ学科		授業方法		講義	
担当教員	白神健一/守谷志妃/森下堅一		学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須	
授業概要	<p>・美容技術はそれぞれ技術の裏付けとなる根拠があり、その理論や薬剤の取扱い等の説明をし理解させると同時に、技術の方法や注意点なども合わせ習得をしやすいように理解させる。</p> <p>・今年度から新たに始まる「ヘアケアマイスター」取得に向けて美容技術理論と同時進行で授業を行い、より学生の理解を深める。</p> <p>・授業は講義形式でプロジェクターを使用し写真や図、実物などを手に取り、利用しながら授業展開をする。また提出物や小テストにより理解度を確認し、クラス全体の知識を高める。</p>								
授業内容									
到達目標	<p>・1年次は美容実習及び国家試験実技を習得する上で必要とされている理論を教えることを一つの目標としている。また、美容師国家試験筆記課題でもあるため十分な理論の知識を深めことで、美容技術理論の必要性を理解されることを目標にする。</p> <p>・10月末に行われる「ヘアケアマイスター、プライマリーコース」の試験に全員合格することを新たな目標の一つとしている。現役の美容師も取得している資格になるため、現場で生きる知識を習得する。</p>								
授業計画・内容									
第1週	【理論】序章：技術と理論 【ヘアケア】1章：毛髪の構造と働き①	第16週	【理論】6章：ヘアカーリング②*ピンカール各部の名称・分類 【ヘアケア】1章：毛髪科学（復習）						
第2週	【理論】1章：用具①*道具、器具、機械の違いについて 【ヘアケア】1章：毛髪の構造と働き②	第17週	【理論】6章：ヘアカーリング③*システムの方向、ループ・ビニング等 【ヘアケア】2章：カウンセリング（復習）						
第3週	【理論】1章：用具②*コーム・ブラシ・シザーズ・レーザー等 【ヘアケア】1章：タンパク質とは	第18週	【理論】6章：ピンカールの作り方・ウェーブ 【ヘアケア】3章：ヘアケア剤（復習）						
第4週	【理論】2章：シャンプーイング①*シャンプーの目的と成分について 【ヘアケア】1章：毛髪のダメージの原因	第19週	【理論】6章：ローラーカール 【ヘアケア】プライマリーコース試験						
第5週	【理論】2章：シャンプーイング②*注意点やマッサージ効果について 【ヘアケア】2章：毛髪のカウンセリングについて	第20週	【理論】6章：ブロードライ ハンドドライヤー 【ヘアケア】プライマリーコース試験（復習）						
第6週	【理論】2章：シャンプーイング③*バック・サイドシャンプーの違い 【ヘアケア】2章：髪質の見極め方	第21週	【理論】6章：アイロンセット・その他 【ヘアケア】6章：色彩学						
第7週	【理論】2章：リンス・コンディショナー①*役割と成分について 【ヘアケア】2章：髪質の見極め方	第22週	【理論】7章：カラーリング 種類とタイプ 【ヘアケア】6章：レベルとトーン						
第8週	【理論】2章：リンス・コンディショナー②*トリートメントとの違い 【ヘアケア】2章：毛髪のダメージレベルについて	第23週	【理論】7章：カラーリング 染毛のメカニズム 【ヘアケア】6章：ヘアカラー剤について①*ヘアカラー剤の分類について						
第9週	【理論】2章：スカルプトリートメント 【ヘアケア】3章：界面活性剤について	第24週	【理論】7章：色の基本 【ヘアケア】ヘアカラー剤について②*脱色剤と脱染剤について						
第10週	【理論】5章：パーマメントウェーブの歴史と理論 【ヘアケア】3章：シャンプー剤の成分と働き	第25週	【理論】7章：パッチテスト 染毛剤と皮膚炎 【ヘアケア】パーマ剤について①*パーマ剤の分類について						
第11週	【理論】5章：パーマメントウェーブ 薬剤の分類 【ヘアケア】3章：トリートメント剤の成分と働き	第26週	【理論】7章：カラーリングの実際 【ヘアケア】パーマ剤について②*還元剤とアルカリ剤の違いについて						
第12週	【理論】5章：パーマ剤に関する注意事項 【ヘアケア】3章：スタイリング剤の成分と働き	第27週	【理論】3章：ヘアデザイン 美容とデザイン 【ヘアケア】パーマの仕組みについて						
第13週	【理論】5章：技術の実際 【ヘアケア】3章：ホームケアアドバイス	第28週	【理論】3章：錯覚の種類と説明 【ヘアケア】ホット系パーマについて①*クリーブ、ガラス化について						
第14週	【理論】6章：ヘアセッティング ヘアセットとは 【ヘアケア】プライマリーコース練習問題①	第29週	【理論】3章：デザインの要素 【ヘアケア】ホット系パーマについて②*ストレートパーマについて						
第15週	【理論】6章：ヘアカーリング①*カールの目的、構成要素について 【ヘアケア】プライマリーコース練習問題②	第30週	【理論】3章：デザインの効果 【ヘアケア】ミドルコース練習問題						
評価方法	<p>・定期試験を実施し、授業内で小テスト・授業時にまとめたノートの提出、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価の目安：定期試験（70％）・小テスト（20％）・授業態度と出席（10％）</p>								
教科書 教材など	<p>日本理容美容教育センター出版「美容技術理論1」。公益法人理容師美容師試験研修センター発行(美容師実技試験課題「実技の解説及び理・美容衛生読本」。日本ヘアケアマイスター協会出版「ヘアケアマイスターブック 第4版」。視聴覚教材：プロジェクター（パワーポイント）</p>								
実務経験	白神健一（美容師歴6年）/守谷志妃（美容師歴3年）/森下堅一（美容師歴7年）					実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容実習	学科名	ヘアビューティ学科		授業方法	実技	
担当教員	白神健一/守谷志妃/森下堅一	学年・学期	1年・通年	時間数	480時間	必須・選択	必須
授業概要	・美容技術を行う上で必要な基本姿勢や用具類の取り扱いを理解させ、国家試験課題の技術条件に沿って練習を行う。また、「シャンプー」など、実践的な技術も習得する。 ・授業は主に実技演習で、授業により講義で各技術ごとに教科書、パワーポイント、動画を使用して説明をする。実技では、デモンストレーションをすることで実際の動きを理解させる。美容師国家試験課題で課題作成時間が決まっているものは、実技の小テストや定期テストを実施し、目標を達成できるようにさせる。						
授業内容							
到達目標	・国家試験課題である「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の技術の条件を理解し、決められた課題作成時間内にできるようにする。また、実技試験における衛生上の取り扱いについても理解することで美容師国家試験（実技）の合格を目指す。 ・サロンワークで必要な基本的なテクニックや知識を「カット」「セットアップ」「シャンプー」などの実習を通じて身に付ける。						
授業計画・内容							
第1週	・美容用具の理解と基本姿勢の習得。 ・ワインディング（ブロッキング）	第16週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(バックシャンプー・トリートメント確認テスト) ・オールウェーブウィッグ作り(レザーの使い方・カット)				
第2週	・ワインディング（ブロッキングを正確に取る） ・シャンプー(毛髪理論)	第17週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(ヘッドスパ) ・オールウェーブウィッグ作り(パーマあて)				
第3週	・ワインディング（上巻き） ・シャンプー(バックシャンプー・相モデル)	第18週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(ヘッドスパ) ・オールウェーブ(フィンガーウェーブ)				
第4週	・ワインディング(上巻き正確に巻く・下巻き) ・シャンプー(バックシャンプー・相モデル)	第19週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(ヘッドスパ) ・オールウェーブ(フィンガーウェーブ構成を理解させる)				
第5週	・ワインディング（下巻きを正確に巻く・センター） ・シャンプー(バックシャンプー・相モデル)	第20週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(ヘッドスパ) ・オールウェーブ(3線目スカルプチュアカール)				
第6週	・ワインディング(センターの構成を理解させる) ・シャンプー(カウンセリング・相モデル)	第21週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(ヘッドスパ理論) ・オールウェーブ(スカルプチュアカール構成を理解させる)				
第7週	・ワインディング(センターのタイムアップ) ・シャンプー(カウンセリング・相モデル)	第22週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(ヘッドスパ理論テスト) ・オールウェーブ(メイポールカール)				
第8週	・ワインディング(フロントの構成を理解させる) ・シャンプー(カウンセリング～バックシャンプー)	第23週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(ヘッドスパ確認テスト) ・オールウェーブ(メイポールカール構成を理解させる)				
第9週	・ワインディング(フロントを正確に巻く) ・シャンプー(カウンセリング～バックシャンプー)	第24週	・ワインディング(タイムアップ) ・オールウェーブ(クロッキノールカール)				
第10週	・ワインディング(右バックサイド・右サイド) ・シャンプー(カウンセリング～シャンプー確認テスト)	第25週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(総合確認) ・オールウェーブ(クロッキノールカール構成を理解させる)				
第11週	・ワインディング(右バックサイド・右サイドを正確に巻く) ・シャンプー(毛髪理論の確認テスト)	第26週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(総合確認) ・オールウェーブ(リフトカール)				
第12週	・ワインディング(左バックサイド・左サイド) ・シャンプー(バックシャンプー・トリートメント)	第27週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(総合確認) ・オールウェーブ(リフトカール構成を理解させる)				
第13週	・ワインディング(左バックサイド・左サイドを正確に巻く) ・シャンプー(バックシャンプー・トリートメント)	第28週	・ワインディング(タイムアップ) ・オールウェーブ(馬蹄形)				
第14週	・ワインディング(全体の構成理解・タイムアップ) ・シャンプー(バックシャンプー・トリートメント)	第29週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(総合確認) ・オールウェーブ(馬蹄形構成を理解させる)				
第15週	・ワインディング（タイムアップ）*前期試験 ・シャンプー(トリートメント理論)	第30週	・ワインディング ・オールウェーブ *後期試験				
評価方法	・授業内で定期試験を実施し、実技・衛生チェックの見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（80%）・実技・衛生チェックの見極め（10%）・授業態度や出席（10%）						
教科書 教材など	・「美容技術理論1・2」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・「美容実習」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・「美容師実技試験課題（技術の解説）」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行						
実務経験	白神健一(美容師歴6年)/守谷志妃(美容師歴3年)/森下堅一(美容師歴7年)		実務経験のある教員による		授業科目		✓

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	ビジネスマナー	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	宮原香由里	学年・学期	1年・前期	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	<p>講義、ロールプレイ演習および授業プリントのファイリング等により、社会人の基本動作と心構えを身に付ける。 社会人・接客サービススタッフとしての心構え、基本動作および敬語と接遇表現を学び、さらに後期の校外実習に実習先のサロンとのやり取りに必要となる、電話対応の基本とビジネス文書の基本を学ぶ。 また、任意受験ではあるが、サービス接遇検定の対策も含む接遇の基本についても取り上げる。</p>						
到達目標	<p>ビジネスマナーは、社会人基礎力と対人技能を身に付けることを目的とする科目である。各種演習やワーク、ロールプレイにより、社会人・接客サービススタッフとしての心構え、文書管理のファイリング技能、基本動作および敬語と接遇表現を学び、授業外の実生活で活用し、これら技能を身に付けることを目標とする。</p>						
第1週	オリエンテーション 教材配布 授業ルールと課題提出方法の説明						
第2週	社会人を目指す学生として 【ロールプレイ】 講師室への入退室						
第3週	第一印象の重要性1 【演習】 挨拶訓練と基本動作						
第4週	第一印象の重要性2 挨拶の言葉 / サービススタッフのコミュニケーション						
第5週	敬語の基本と接遇話法1 敬語の働きと種類						
第6週	敬語の基本と接遇話法2 敬称と接遇用語						
第7週	敬語の基本と接遇話法3 接遇表現						
第8週	敬語の基本と接遇話法4 総合演習						
第9週	電話対応の基本1 ビジネス電話の特性と対応時の基本マナー						
第10週	電話対応の基本2 電話話法						
第11週	電話対応の流れ						
第12週	電話対応演習【ロールプレイ】 予約を受ける / 問い合わせに答える / 取次電話						
第13週	電話対応演習【ロールプレイ】 伝言を受ける / クレーム電話 / 電話を掛ける						
第14週	ビジネス文書の基本知識 手紙の形式（横書き・縦書き） / Eメールのポイント						
第15週	ビジネス文書の演習 縦書きの手紙を書いてみる						
評価方法	<p>①出席点（100点）…テストや必須の補習等も含めたすべての出席率が点数 ②授業点（100点）…持ち点を100点とし、課題や提出物、授業態度を減点法で採点する ③試験点（100点）…期末のテスト、中間テストや実技テスト等の合計点 ①②③の平均点を最終評価とする。 なお、講義への出席状況と授業への取り組み姿勢が評価に大きく影響するため、成績不良者に対する再試験は行わない。</p>						
教科書 教材など	<p>講師作成のプリントを使用する。 サービス接遇検定3～2級受験者（任意）には、対策プリントと実問題集を貸し出し自己学習できるようにする。</p>						
実務経験	各種専門学校や一般企業、公共職業訓練等でビジネスマナー・インストラクターとして25年以上の経験あり				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアカラーコディネート		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	安井けい子、森香絵		学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須選択
授業概要	主に色彩検定3級程度の理論を学び、理論を習得する実践的な実習（個人・グループワーク）を行い、五感や感性を磨き、表現力を高める授業である。							
授業内容	色彩理論の基礎を学び、理解を深めるための実習を通じて色彩感覚を身に付け、専門分野に活用できるよう、個人実習に加えグループワークを行う。（希望者のみパーソナルカラー検定受験）							
到達目標	社会人として、また主に接客業に従事する人間として、基本的なあいさつ、人間関係構築力やコミュニケーション力を磨き高める。 色彩理論を表現する実習を通じて、色彩感覚に加え五感や感性を磨き、自己表現力を高め、自己理解や他者理解を深めることを目標としている。							
授業計画・内容								
第1週	身の回りにある色彩について、ファッションと色彩			第16週	配色理論①（色相配色）とカード実習			
第2週	グループワーク「機能的・情緒的色彩の役割り」			第17週	配色理論②（トーン配色）とカード実習			
第3週	色彩理論 「色の分類と三属性」			第18週	前回復習と小テスト・グループワーク①			
第4週	前回復習・小テスト・配色理論と実習			第19週	色彩とファッション、ファッション配色実習			
第5週	色彩理論 「有彩色の分類」と実習			第20週	色彩とインテリア、小テスト、インテリア実習			
第6週	色彩理論 「光と色、色はどうして見えるのか」			第21週	サロンのインテリア画作成実習と発表			
第7週	色彩実習 「有彩色の分類と絵の具配色実習」			第22週	ファッションとインテリア復習と小テスト			
第8週	色彩理論 「色と照明」、配色実習			第23週	色と嗅覚 「アロマセラピー理論と実習」			
第9週	総復習と小テスト・季節感と色の実習			第24週	色彩実習 「配色とスクラッチアート実習」			
第10週	色彩理論 「PCCS色相環とは」、カード実習			第25週	混色復習と小テスト、絵の具混色実習			
第11週	色彩理論 「PCCSトーンとは」、カード実習			第26週	季節感と色彩 「クリスマスカード作成」			
第12週	PCCS総復習と小テスト、配色実習			第27週	色彩心理についてグループワークと発表			
第13週	色彩理論 「混色理論と実習」			第28週	混色と配色実習「パステルアート作成」			
第14週	配色イメージと季節感、うちわ作成実習			第29週	後期試験対策①、配色実習			
第15週	前期試験対策、配色カード実習			第30週	後期試験対策②			
評価方法	試験約60%、出席率・授業態度約20%、提出物約20% *特に提出物、授業への取り組み姿勢、他者との協調性等を重視し評価する。							
教科書 教材など	検定3級テキスト、カラーカード							
実務経験	カラースクール主宰、色彩・パーソナルカラー講師26年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容総合研究	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	<p>・毛髪の基礎知識を学ぶことで毛髪診断の必要性を理解させ、髪質に合ったヘアケア剤、薬剤の選定方法に役立てる。</p> <p>・授業方法は講義形式を中心に授業によっては実験を交えて毛髪の理解を高めるために毛髪診断を行い、頭皮の観察、毛髪の診断を行う。</p>						
到達目標	美容師に必要な毛髪を取り扱っていく上での知識を習得し、就職してからお客様の頭皮から毛髪についての相談に乗れるよう実践に役立てる。						
授業計画・内容							
第1週	物質の構成	第16週	ブリーチと毛髪損傷				
第2週	溶解とコロイド	第17週	ヘアダイと毛髪損傷				
第3週	飽和溶液と不飽和溶液	第18週	ヘアダイが染まって褪色しにくいわけ				
第4週	イオンと水素イオン指数	第19週	アルカリ分をほとんど含まないヘアダイ				
第5週	酸と塩基の定義と強弱	第20週	ヘアダイかぶれはアレルギー				
第6週	物質の変化と化学反応	第21週	ヘアマニキュアは酸性染料				
第7週	酸化・還元反応	第22週	その他染毛料のいろいろ				
第8週	タンパク質	第23週	毛髪とパーマ				
第9週	ケラチン	第24週	パーマの原理				
第10週	毛髪基礎知識①	第25週	パーマ1剤は還元剤、2剤は酸化剤				
第11週	ヘアサイクルとは？	第26週	パーマと毛髪損傷				
第12週	ケラチンは丈夫なタンパク質	第27週	ロッドとウェーブ				
第13週	毛髪はやや酸性が傷みにくい	第28週	パーマ2剤では中和しない				
第14週	毛髪とヘアカラー	第29週	毛髪診断 実習				
第15週	ブリーチの仕組み	第30週	毛髪診断 実習				
評価方法	<p>定期試験は実施せずに、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安：発表（20％）・授業態度や出席（30％）・定期テスト（50％）</p>						
教科書 教材など	出版社：株式会社ビービーコム		書名：毛髪科学を知る及び毛髪のひみつ				
	出版社：公益社団法人日本理容美容教育センター		書名：香粧品化学				
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリープ21 3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅠ		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技	
担当教員	守谷 志妃		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択	
授業概要	<p>・美容師として仕事の幅を広げるために必要なメイク技術の理解を深めることで、ヘア&メイクのトータル的なデザインに繋げることができる基礎知識を学ぶ授業である。</p> <p>・授業方法は主に実技形式で、実践的な相モデルで授業を実施し、また講義では基本的な道具の使用方法や持ち方などを徹底的に指導すると共に、メイクに必要な色のもつバリエーションを理解させる。</p>								
授業内容									
到達目標	<p>・一般社団法人JMA シュウウエムラメイクアップ技術検定取得に向け実践的に役立つ授業を行うことで美容師として、お客様にメイクのアドバイスをできるように指導する。</p>								
授業計画・内容									
第1週	化粧品 の定義 化粧品の位置づけ、使用する化粧品の目的及び特徴			第16週	スキンケアの相モデルでテクニックのテスト（20分）15人				
第2週	メイクアップ理論 ベーシックテクニックの重要性、プロフェッショナルにとってのメイクアップの必要性			第17週	スキンケアの相モデルでテクニックのテスト（20分）15人				
第3週	道具の準備 ハードフォーミュラ（アイブローペンシル）を削る			第18週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習				
第4週	セルフメイクアップ、メイクアップ化粧品の使用方法を確認			第19週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習				
第5週	スタンスチェック メイクモデルの扱い方などを、相モデルで確認			第20週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習				
第6週	ベースメイクアップ（ アンダーベース・ファンデーション・フェイスパウダー） 展示および実習 ファンデーションの色選			第21週	カラーカウンセリング システムの理解とカラーベースによるコーディネート（ブルーベース、イエローベースに基づき、カラーベースを統一させたメイクアップデザインを考案する				
第7週	ベースメイクアップの復習 スタンスやモデルの扱い方再確認理解			第22週	カラーカウンセリング システムの理解とカラーベースによるコーディネート イエローベースに基づき、カラーベースを統一させたメイクアップデザインをグループワークする				
第8週	ベースメイクアップ復習(相モデルで実習) 手順、テクニックのポイントなどを再確認、理解させる			第23週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習1（デザイン画に基づいたブルーベースの実習）				
第9週	ベースメイクアップ復習 リップメイクアップ展示及び実習 道具の扱い方、テクニックのポイントを確認する			第24週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習1（デザイン画に基づいたブルーベースの実習）前回とは、違うモデルで実習				
第10週	ベースメイクアップ、リップメイクアップ復習 アイメイクアップ展示及び実習 シングルパターンテクニックのポイントを理解する。 道具の扱い方、テクニックを理解する			第25週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習2（デザイン画に基づいたイエローベースの実習）				
第11週	ベースメイクアップ、アイメイクアップの復習、眉のブローーション、道具の扱い方、アイブローの描き方、手順、テクニックのポイントを確認する。ドローイングを反復練習する			第26週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習2（デザイン画に基づいたイエローベースの実習）前回とは、違うモデルで相モデルで実習				
第12週	ベースメイクアップ、アイメイクアップ、リップメイクアップ、アイメイクアップ、アイブローメイクアップ復習 道具の扱い方、ブラシワーク、手順、テクニックのポイントを確認する			第27週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネイトの実習）				
第13週	ベーシックメイクアップ復習（ベースメイクアップ～チークメイクアップを重視し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける			第28週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネイトの実習）モデルを変えての実習				
第14週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける			第29週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネイトの実習）モデルを変えての実習				
第15週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。反復練習			第30週	各自カラーカウンセリングに基づいたナチュラルメイクの発表・感想				
評価方法	<p>・定期試験の実技は授業中に、学科は授業外で実施し、授業態度や出席状況及びノート提出を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安：毎時間の授業態度や出席及びノート提出（20%）・授業中の技術チェック(40%)・定期試験(40%)</p>								
教科書 教材など	一般社団法人JMA（日本メイクアップ技術検定協会）MEKEUP TECHNIQUE CERTIFICATION EXAMINATION								
実務経験	美容師歴3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワーク II		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	(前期) 清水江里奈 (後期) 白神健一/守谷志妃/森下堅一		学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	授業方法	実技
授業概要 ・ 授業内容	<p>(前期) 実際のサロンワークで使用する商材・薬剤を使用する事で、用具の取扱い上での注意点・トラブルやアレルギーに関する知識を学ぶ。授業はウィッグを用いての実技をメインとし、基本装着から基本のデザインまでのテクニックを身につける。</p> <p>(後期)：美容師に必要な指先を動かす練習として主に基本的な三つ編みから応用までを行い、またアップ時に必要とされるピンニングやブラシの使い方を教える。授業は実技演習形式で行い、指先の動きがみえるようにデモンストレーションゆくり分りやすく繰り返して教え、できない学生には再度デモンストレーションを個別に行い、できる楽しさを教える。</p>							
到達目標	<p>(前期) 目や目元の繊細な施術であることを十分に理解し、安全を配慮した衛生管理を身につける。またアイリストは美容師免許が必須な職業な為、基本的な知識と技術を身につける事や資格を生かした仕事への意識を高める事を目指す。</p> <p>(後期)：美容師の仕事は基本的に指先を使うことが大切であり、シャンプー、ブロー、カット、アップ等の技術も基本は同じであり、サロンワークIIの授業を通して不器用でも練習する大切さを身に付けさせる。</p>							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション、まつ毛エクステーションとは何か、被害やトラブル紹介			第16週	ウィッグで三つ編みの手順			
第2週	地まつ毛の一般理論（毛周期）、地まつ毛診断（グループワークで行う）			第17週	ウィッグで三つ編みを細かく作る			
第3週	地まつ毛の一般理論（毛髪化学）、カウンセリング内容			第18週	ウィックでツイストの手順から応用			
第4週	マツエク装着後の注意点（アフターケア方法）、エクステに触れる			第19週	フィッシュボーンの手順から応用			
第5週	道具の取り扱い①（ツイザー） ツイザーの持ち方、人工毛の掴み方、かき分けの仕方			第20週	四つ網みの手順から細かく作る			
第6週	道具の取り扱い②(人工毛、グルー、グループレート) グルーの適量の取り方、エクステの装着の仕方			第21週	編み込み（三つ編み・裏網み・ツイスト）			
第7週	道具の取り扱い③（テープ） テープワークの仕方、J・Cカールの装着			第22週	三つ編みを利用してハーフアップ			
第8週	道具の取り扱い④（クレンジング、リムーバー） リムーブの仕方			第23週	三つ編みを利用してのアップ ピンの止め方とブラシの使い方			
第9週	接触皮膚炎について、エクステ装着の一連の流れ			第24週	V字編み・丸四つ網の手順			
第10週	デザイン作成①（キューティライン）			第25週	編み込みを取入れたアレンジヘア			
第11週	デザイン作成②（セクシーライン）			第26週	アレンジスタイル応用① ルーズ感を出す・アイロン使用			
第12週	デザイン作成の復習			第27週	アレンジスタイル応用② ルーズ感を出す・アイロン使用			
第13週	目元のマッサージ（工程・ツボの位置・効果）（グループワーク又は自分の顔で行う）			第28週	アレンジスタイル応用③ ルーズ感を出す・アイロン使用			
第14週	まとめ、デザイン作成復習・注意点			第29週	V字編み・丸四つ網の復習			
第15週	まとめ、実技試験			第30週	エクステーションの付け方 V字編み・丸四つ網を利用する			
評価方法	<p>(前期) 定期試験を実施し実技は授業内、授業外での筆記試験、授業時に使用するプリントの提出、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。※評価目安：実技・筆記試験（50%）、提出物(25%)、授業態度・出席（25%）</p> <p>(後期)：学期末試験を実施せずに授業中の取り組み姿勢や技術チェック、成長度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：授業中の意欲、実技チェック（50%）・成長度（40%）・出席状況（10%）</p>							
教科書 教材など	<p>(前期) 日本理美容教育センター まつ毛エクステーション (後期)：出版社：株式会社アイメディア 書名：パーティアップ（ドレスアップ・ドレスダウンスタイルの作り方）</p>							
実務経験	前期：アイリスト歴11年・サロン経営・(株) アイラッシュガレージ認定講師 後期：白神健一(美容師歴6年)/守谷志妃(美容師歴3年)/森下堅一(美容師歴7年)					実務経験のある教員による 授業科目		✓